

HISAI 芸術家の住む町プロジェクト 2022

ARTIST IN RESIDENCE PROGRAM

津市内で ドキュメンタリー

映画

ドキュメンタリーとは？

テレビ番組や映画のジャンルのひとつ。ドキュメンタリーの手法を用いて、事実であるかのように表現されたフィクション作品です。

を撮影します

住む町プロジェクトとは？

県外からアーティストを公募により招聘し、津市に特定の期間滞在して制作活動を実施します。アーティストは滞在期間中、その町に住む人々や場所と密接に関わりながら、地域に根差したアート作品の創造に取り組みます。

滞在アーティスト：小鷹拓郎（アーティスト、映画監督）

滞在制作期間：5月25日（水）～
7月3日（日）



今年度の滞在制作活動について

上記の期間で滞在アーティストが市内をめぐり、地域住民と交流をしながら、作品制作のためのリサーチやロケハン、出演者の募集、撮影などを実施します。

アーティストの滞在制作活動について、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

イベントスケジュール 【会場】津市久居アルスプラザ

7月3日（日）「トークイベント」

7月9日（土）～7月17日（日）「成果発表展」 ※詳細は決定次第別途お知らせいたします。

主催：津市久居アルスプラザ指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス



〒514-1136 三重県津市久居東鷹跡町 246 番地

TEL 059-253-4161

※休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌平日）12月29日～1月3日
※久居アルスプラザホームページからもお問合せいただけます。

※近鉄久居駅から徒歩11分 公共交通機関でのご来館にご理解とご協力をお願いいたします。

久居アルス
プラザHP



RESIDENCE ARTIST PROFILE

Kotaka Takuro

滞在アーティスト 小鷹 拓郎



アーティスト、映画監督。1984年埼玉県出身。

これまで民間伝承や伝説をモチーフに現実の社会問題を考察していくドキュメンタリー映画の制作に取り組む。

近作はコロナ禍の外国人差別を描いた映画「インドネシ

ア人技能実習生、河童の狩猟技術を学ぶ」、原発誘致を巡る「村に UFO を誘致する」、爆弾テロ地帯で暮らすイスラム教徒たちと共同制作した SF 映画などがある。

主な映画祭に「第 16 回ジョグジャカルタ NETPAC アジアン国際映画祭」(インドネシア)、「第 56 回オーバーハウゼン国際短編ドキュメンタリー映画祭」(ドイツ)などで正式招待上映。

主な展覧会

2021 年「Nandur Srawung」(タマンブダヤギャラリー、インドネシア)

2019 年「Beyond the Final Frontier」(Subhashok アーツセンター、タイ)

2018 年「Jakarta Biennale」(パタニーアートスペース、タイ)

2017 年「奥能登国際芸術祭」(奥能登口伝資料館、石川県)

2009 年「Jakarta Biennale」(インドネシア国立ギャラリー、インドネシア) など

1976 年創刊のカルチャー誌「STUDIO VOICE」では海外のアートシーンを紹介するコラムを執筆。平成 29 年度文化庁新進芸術家海外研修員、平成 31 年度ポーラ美術振興財団在外研修員。現在は埼玉とインドネシアを拠点に活動。



「インドネシア人技能実習生、河童の狩猟技術を学ぶ」(2021 年)

上映：ジョグジャ NETPAC アジアン国際映画祭 2021 (インドネシア)、

UNMANNED 無人駅の芸術祭 / 大井川 2022 (静岡) など

予告編：<https://www.youtube.com/watch?v=VXou-lwKDMs>

QRコード
予告編



「村に UFO を誘致する」(2017 年)

上映：奥能登国際芸術祭 2017 (石川県)、ジョグジャカルタ国際ドキュメンタリー映画祭 2017 (インドネシア) など

予告編：https://youtu.be/_o0Dm6QQwuc

QRコード
予告編

